

2025年度第2回血液検査機器技術委員会次第（案）

1. 日時：2025年10月4日（土） 15時30分～16時50分
2. 場所：パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512号室
現地+Zoom開催
3. 出席者（敬称略）
現地：金子、下村、井上、稲葉、高橋、増田、新保、内藤、中西、松田、山口、林、小野、池田、奥野、長濱、檜木、鈴木、石井、中山、黒川、藤岡、大泉
Zoom：常名、菅原、大川、今田、徳永
4. 欠席者（敬称略）
朝比奈、四ノ宮
5. 議題
 - 1) 報告事項
 - (1) 2025年度第1回血液検査機器技術委員会議事録確認
 - (2) 委員交代
交代予定：鈴木 浩一委員 → 奥山 啓昭氏
(ロシュ・ダイアグノスティック株式会社)
 - (3) 第15回血液検査機器技術セミナーについて
 - ① テーマ：「凝固測定装置の特徴と凝固検査の実運用」
 - ② 担当：金子委員、井上委員
 - ③ 日時：2025年10月5日（日）13：00～15：00（120分）
 - ④ 会場：第1会場（パシフィコ横浜会議センター5F 503号室）
 - ⑤ 定員：390名（事前登録不要）
 - ⑥ 参加者名簿：なし（会場内のおおよその人数を数えることで代用）
✓今年度も昨年度同様、当日の受付業務はなし。来年以降も当日の受付業務は不要となる旨連絡があった。
 - ⑦ 参加証明書：アンケート回答後のダウンロード形式
 - ⑧ 内容：イントロ（13：00～13：02）
講演1（13：02～13：17）
凝固検査の確認基準
井上 まどか（群馬大学医学部附属病院）
紹介（13：17～14：35）
血液凝固測定分野における各社機器・試薬の特性と
「自社製品」の特長

1. アイ・エル・ジャパン：藤岡 貴
2. A&T：小野 洋一
3. シスメックス：板垣 史華
4. 積水メディカル：石井 葵
5. PHC：渋谷 理子
6. ロシュ：鈴木 浩一

✓講演のタイトルは、「各社」という言葉をメーカー名に変更する。スライドの登録は各自で済ませる。演者は時間に合わせて会場へ集合とし、講演順も上記に記載の通りとする。以上の内容の確認があった。

講演 2 (14:35~14:50)

凝固検査のこれからの将来

松田 将門 (福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科)

⑨ テキスト：今回は事後掲載とした。

掲載可能なスライドは10月24日(金)までに井上委員へ提出

2) 審議事項

(1) 第16回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ：「品質保証（精度管理）について」

② 担当：高橋委員、内藤委員

③ 内容：ISO 15189：2022の要求事項を満たす品質保証について、各施設での実運用から是正の方法までを紹介

1. 自動血球計数機の品質保証

→岩手医科大学附属病院 千葉拓也氏

2. 血液像の品質保証

→金沢医科大学附属病院 大川委員

3. 凝固機器の品質保証

→横浜立大学附属病院 矢島智志氏

4. ISO 15189：2022 要求事項について

→日本適合性協会 JAB 執行役員 LAB 認定ユニット長
下田雄二先生又は臨床検査担当スタッフ

(JAB に要請済)

④ 進 捗：演者は依頼済み。セミナーの時間決定次第講演時間を決めていく

- ⑤ 審議事項：内藤委員より、以下の通り審議したい旨の報告があった。講演4について、規格に焦点を当てるような内容にするか技術的な部分、血液検査に特化した内容にするかで演者を再度選定し直すことができそうだがどうするか。

✓審議の結果、講演1～3にて各分野についての講演をいただけるため、講演4を技術的なものとするすると重複することが想定されることから、規格に焦点を当てるような内容とするとして、特に異議等なく、担当委員の提案の内容で進めることとなった。

- ⑥ 連絡事項：井上委員より来年度だけでなくそれ以降も含めてのセミナー運営に関して連絡があった。

✓技術セミナーについても抄録の登録が必須

締切は一般演題と同日に設定されている。演者の方々にはその旨連絡をし、抄録の作成、登録を依頼する必要がある。

✓MTJからの原稿依頼がある

例年、7月の終わりからお盆前くらいを締切として依頼があるため担当委員は対応が必要となる。

✓セミナーの時間について

提示されるプログラムの都合で時間が大幅に変更される旨を念頭に置く必要がある。今後についても、秋の学術委員長会議や学会事務局へ要望を提出するようにしていく方がよいと考えられるため、委員長、事務局で対応することとする。

併せて大会に関連し、稲葉委員、新保委員よりモーニングセミナー、シンポジウムなどの依頼についても情報共有があった。

- (2) 第17回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ：夜間休日における血液検査・凝固検査（仮）
- ② 担当：中西委員、今田委員
- ③ 内容：詳細は現状未定。今後詰めていく予定。

- (3) 第18回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ：(凝固検査の内容)
- ② 担当：徳永委員、松田委員
- ③ 内容：テーマを含めて今後相談。

(4) 学会雑誌の補冊発刊について

① 発刊予定1 (2025年目標)

タイトル：「血液検査に役立つ自動血球計数装置の基礎知識と
再検方法及び症例解析」

内 容：2020年、2021年、2023年のセミナーの内容

担 当：新保委員、井上委員、常名委員、メーカー委員

→新保委員より現在の進捗及び今後のスケジュールについて報告がされた。

- ✓メーカー委員からの原稿を受け取り確認中。
- ✓2023年度に発表いただいた演者へ依頼予定であったが、1施設の例であり偏った内容となると考えられたため依頼しないこととした。
- ✓症例解析は現在雛型を作成中。執筆は井上委員、常名委員が担当。
- ✓11月には作り終えて、12月には事務局、編集社への提出を予定。
- ✓各血球の基本的な臨床的意義については新保委員が執筆。
- ✓金子委員長からの挨拶文も掲載
- ✓従来はモノクロでの作成となっていたが、細胞写真や細胞粒度分布などカラーページの必要性も含め相談中。今後他の委員会でもカラーページが必要となることは想定されるので、カラーページを最後にまとめるなどして価格を抑えることも視野に事務局、編集社を含め継続して協議する。

② 発刊予定2 (2027年目標)

タイトル：「クロスミキシングテストの参考書」

内 容：2022年のセミナー内容

担 当：新保委員、下村委員、菅原委員はじめ2022年のセミナー
演者

3) その他

(1) 第40回春季セミナーについて

増田委員より以下の報告があった。

昨日開催された理事会において、第40回春季セミナー堀田例会長からより多くの方に参加いただけるよう、ポスターセッションを設けることが報告された。

内容の一例として、各委員会の取り組みをポスター発表にまとめてほしいとの依頼があった。

血液検査技術委員会としても可能な限り対応する必要があることを

情報共有しておきたい。

→金子委員長より正式に依頼が来るかは現時点では不明なため、必要に応じてメール審議等を行う旨を